

2024 年 12 月 5 週（12月27日～1月2日）

前年同期

-

1 品種別取扱状況

	総 取 扱 数 量	鮮 魚 類	冷 凍 魚 類	塩 干 加 工 品
一日平均取扱数量（t）	1087	505	262	321
前 週 比（％）	83	92	84	71
前 年 同 期 比（％）	-	-	-	-

2 魚種別取扱状況(各地*：海外含む。前週・前年同期比の単位は％、該当する中値を比較して算出。)

品 名	一 日 平 均 取 扱 数 量 (t)					主産地	銘柄	卸 売 価 格 (円 / kg) 及 び 中 値 比 較					今週の主力 (サイズ)
	取扱数量	前週比	増減	前年同期比	増減			高 値	中 値	安 値	前週比	前年同期比	
マ グ ロ	105.3	176	↑	-	-	各 地	生	21600	7870	2160	150	-	-
						海 外	生	-	-	-	-	-	-
メ バ チ	37.5	65	↓	-	-	各 地*	冷凍	3024	1131	680	106	-	-
ア ジ	11.9	40	↓	-	-	長崎ほか	中	1620	770	540	95	-	200-300g/尾
						-	中小	-	-	-	-	-	-
サ バ	6.8	38	↓	-	-	宮 城	-	1296	675	324	123	-	5-10入/5kg
イ ワ シ	6.5	41	↓	-	-	岩 手	-	1296	513	324	122	-	90-100g/尾
スルメイカ	2.8	64	↓	-	-	北海道	-	2160	1620	1080	112	-	20-25入/5kg
冷スルメイカ	1.9	63	↓	-	-	各 地	-	2376	-	2160	-	-	-
サ ン マ	0.7	33	↓	-	-	北海道	解凍	972	-	648	-	-	-
カ レ イ	7.8	50	↓	-	-	北海道	マ	756	702	648	97	-	-
						青森ほか	マコ	648	594	540	69	-	-
						北海道	アカ	864	729	432	80	-	-
						北海道	アサバ	756	567	432	74	-	-
ハ マ チ	53.7	177	↑	-	-	愛媛ほか	野メ	1242	1188	1134	100	-	5-6kg/尾
塩 サ ケ	17.3	86	↓	-	-	北海道	トキ	-	-	-	-	-	-
						北海道	アキ	1620	1512	1404	100	-	-
タ ラ 類	15.2	52	↓	-	-	青森ほか	生	1296	-	648	-	-	3-6kg/尾
						宮 城	ぶわ	-	1620	-	100	-	4-7枚入/5kg
カ ツ オ	0.8	27	↓	-	-	愛 媛	-	3780	2106	1944	130	-	4-5kg/尾
キンメダイ	3.9	93	↓	-	-	千葉ほか	-	5940	2997	1404	109	-	0.5-1.5kg/尾
ム キ カ キ	9.4	60	↓	-	-	三 陸	-	5400	3314	1620	98	-	-
						各 地	-	2700	2016	756	95	-	-

※前年度分週況(12月29日～1月4日)は未作成のため比較なし。

3 豊洲市場概況

今週は31日(火)、1日(水)、2日(木)が休市のため4日間の営業。鮮魚類の取扱数量は前週に比べ8%の減少。
一般鮮魚類を中心に取引を見ると、27日(金)、週末の取引、買い気はいまひとつ。スルメは1-2割続落、ブリは小安い、イワシは堅調、カツオは強保合、アジとサバは保合った。相場全体では小安い。28日(土)、開市の間の取引、入荷は減ったが、明日(29日)が開市となることや、年末で一般鮮魚の引き合いが弱まっているため、荷動きは鈍化。サバは2-3割上伸、スルメは1-2割反発、イワシは強保合、ブリは小幅ながら続落、カツオは小安い、アジは弱保合。相場全体ではまちまち。29日(日)、日曜開市の取引、年末の取引とあって、一般鮮魚の引き合いは一段と弱まったが、総じてしなったことで、荷動きは良好だった。アジとイワシはともに上伸、スルメは続堅調、サバは続伸、ブリは2-3割反発した。相場全体では堅調。30日(月)、年最終市の取引、入荷が少なかったため、荷動きは順調。スルメは1割下落、ブリは小反落、アジはまちまち、サバとイワシはともに保合った。
主要鮮魚別に見ると、アジは中型が長崎と富山主体に入荷、中小型は入荷なし。数量は前週に比べ60%減少、価格は中型が0.5割安。サバは宮城主体に入荷。数量は前週に比べ62%減少、価格は2.5割弱高。イワシは岩手主体に入荷。数量は前週に比べ59%減少、価格は2割強高。スルメイカは北海道主体に入荷。数量は前週に比べ36%減少、価格は1割強高。カツオは愛媛主体に入荷。数量は前週に比べ73%減少、価格は3割高。ムキカキの数量は40%減少、三陸産の価格はわずかに下落。